



小学校

英語活動ニュース



2018年度の大阪狭山小学校英語活動支援の会（支援の会）の活動を振りかえりました。
英語ディキャンプ

2017年度のディキャンプは台風のために中止をしました。

2018年の夏は学校のプール指導を中止するほどの酷暑でしたが、6日（月）から暑さが少し和らぎ、8月7日（火）英語ディキャンプを笑顔いっぱいで終えることができました。



参加者数 児童数 36人、協力学生 8人、アメリカ人家族 5人、支援の会スタッフ 12人、総数 61人

場所 市民ふれあいの里（大阪狭山市東野東 1-32-2）

内容 9時30分に受付を開始し、10時から行いました。

社会科、家庭科、英語活動、ランチタイム、英語活動、体育というプログラムを実施しました。内容として、「Passport Game」「カレー用の具材の注文と受け取り」「What time is it, Mr.Wolf?」「Water relay」「Treasure Hunting」他5つゲームの野外活動をして楽しみました。

大阪北部地震や広島県・岡山県において豪雨が発生した後であったため、熱中症対策のために準備するつもりでいたポカリスエットが入手できなくて、やっと2ケースを確保したのはキャンプ前日でした。そのため事前に購入していた一人当たりの飲料が余る結果となり、児童たちにお土産として持って帰ってもらいました。上の写真に見るように子どもの笑顔でいっぱいの一日となりました。

英語活動セミナー

テーマ 「導入デモや small talk を体験しよう」「新教材 Watch and think 他の扱い」「Activity の効果的な使い方を知ろう」

7月24日(火) 午前9時30分開始 12時終了



参加者 学校長、大阪狭山市教育委員会指導主事1名、小学校教員12名、支援の会15名

場所 大阪狭山市立第七小学校 多目的室

概要

各小学校において、学習支援指導、校内研修などの夏季休業中でなければできない仕事でお忙しい中、多くの先生方が参加してくださいました。

1. 「導入デモや small talk を体験しよう」概要 伊藤美幸理事

「文部科学省外国語活動・外国語研修ガイドブック(実習編)」引用 p84

Small Talk を行う主な目的は、(1)既習表現を繰り返し使用できるようにしてその定着を図ること、(2)対話の続け方を指導すること、の2点である。

Small talk は、文部科学省のガイドブックによると6年生の教材として取り上げられていますが、既習の言葉を使いながら、好きな食べ物やスポーツなど児童の身近な話題について、指導者の話を聞いたりしながら、内容を深める活動で、中学年からも可能で、学齢によって内容を変化させ、コミュニケーションの楽しさが展開できます。

留意点は 指導者は

○しゃべりすぎない。

○児童の発話(やりとり)を促す。

○短時間で子どもの心をつかみ、自分もやってみたいと思うように意図すること。

「Let's Try 1 Unit 5 “What do you like?”, Unit 8 “What's this?”」「Let's Try 2 Unit 5 “Do you have a pen?” Unit 9 “This is my day.”」「We can 1 Unit 9 “Who is your hero?”」の各単元における Small talk をワークショップし作り上げたものを全体にシェアし、学びあいました。

アルファベットの文字指導について 伊藤美幸理事

文字の指導は「音声に十分に慣れてから始めること。歌などを使って文字認識を段階的に進めること。紙に書く指導は高学年の最終目標に置くこと。(ペンマンシップは中学校で学習する)」を学びました。方法として、**Dream1** を使って「ABC ソングの特定の文字を発話しないで手をたたくなど変化をつける。Z からの逆さ読みを入れる。大文字の形を体で表現する。小文字の形には背の高いもの、低いもの、下にいくものがあることを体で覚える。空中や手のひら、背中に書く。」などを学びました。

2. 「新教材 Watch and think 他の扱い」 根本孝女支援者、大橋令子支援者

Let's Try 1 Unit 7、Let's Try 2 Unit 6 を使って実体験をしました。

○Watch and think は單元ごとに「めあての Point」が指導書に掲げられています。

この「Watch and think」を聞いて一言一句の解説は必要ありません。(してはならないことです)内容を少しでも聞き取れたことを確認しながら、進めていくことが大切です。

○内容を理解し深めるうえで日本語が多くなる活動です。教材の中に含まれていることや一つの言葉から内容を発展させるためには、必ず教材を事前に視聴しておかなければ、学習の深まりや興味を導きだせません。

○どんな場面であったか、どんなことに気が付いたか。誰と誰の話であったか。どんな言葉が聞けたか。いろいろな発問を通して児童の興味を引き付けるようにします。

○文化理解を深める單元、言語理解に気づく單元などいろいろあります。

○教材の中の「Watch and think」が子どものレベルに難しい場合、簡単なものに HRT と JET 間でのやり取りに変化させます。

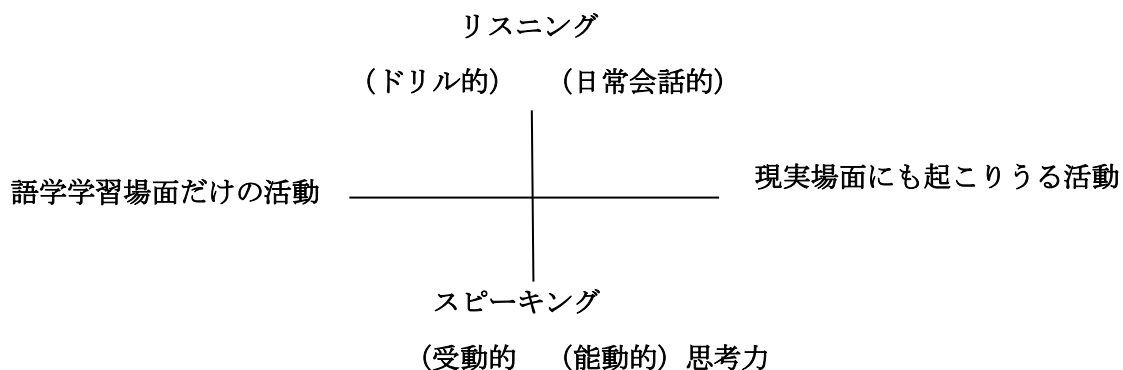
3. 「Activity の効果的な使い方を知ろう」 小林文女支援者

ゲームをどのような目的をもって活動しているのでしょうか？

各単元の最終目標から逆算してどのような活動がふさわしいかをいつも考えておきましょう。

いろいろなゲームがありますが、下の座標のどの部分をめざしての活動であるかを考えました。

Let's watch and think. Chant (song). Let's listen. Small talk. インタビューゲーム、キーワードゲーム、ポインティングゲーム、はえたたきゲーム、ミッシングゲーム、ビンゴ、スネークゲーム、タイフーンゲーム、爆弾ゲーム、スリーヒントゲーム、カルタ(巻末カード利用)等



同じキーワードゲーム、ビンゴゲームであっても場面設定によって、目標を変えることになり新しい活動に変わります。導入段階のインプット、少しアレンジしてのインプット、定着のための活動、アウトプットとしてコミュニケーションのものか、指導者としてゴールへの足場かけをしているという意識を持っておきます。

カード一枚を前に取りに来て発話することだけでも子どもたちにとって大きな成功体験になります。

外国語・外国語活動を通して、子どもの持っている力の新たな発見を指導者の工夫によって導かれます。

高学年になれば、今までに学習してきたこと、指導者が日ごろ発話していることをもとに先生の代わりをしながら進めることも可能です（ゲームを展開する経験をする）。

一つひとつの Activity の目標と指導計画の大切さを学ぶ機会となりました。

英語絵本読み聞かせ会

3月23日（土）大阪狭山市立公民館 参加者 21組 外国人（1名）スタッフ 5名



プログラム

1. Open shut down/ Weather song
2. We are going on the Bear Hunt.
3. Hokey Pokey.
4. Animal sounds.
5. If you are happy and you know it.
6. Faster, Faster, Nice and Slow.
7. Ball Toss.
8. Pssport Game.

上の8つのゲームや踊り、歌、お話を聞く、7つの国を訪問してパスポートにサインを貰うなどを楽しみました。

編集後記

大阪狭山市立7小学校3年生・4年生（34クラス）の英語活動を支援した総時数は1027時間で平均すると30時間を学習しました。大阪狭山市の英語活動は週1時間を実施しており、学習教材「Let's try 1, Let's try 2」を学習し終わりました。

新しく導入された外国語学習ですが、学年当初、慣れなくて戸惑っておられた先生方も3月には授業を組み立て、いろいろな工夫をし、展開されていました。子どもたちが活動を通して、元気よく意欲的に学んでいる姿とその成長ぶりに支援者一同喜びを感じています。次年度もより楽しい活動を紹介するために研鑽を務めてまいります。（大阪狭山小学校英語活動支援の会代表 石井重光）